

松戸でも自公の悪政にキッパリ対決し

市民との共同で政治を動かす日本共産党



2014年8月直ちにエアコン設置をと市に要請

♥ 小中学校にエアコン設置! 猛暑から生徒たちを守る

2014年の夏の猛暑の中、日本共産党の提案で実施された市の室温調査では、教室が最高で38℃、職員室が40℃に達しました。

連日の猛暑に生徒からは「暑くて勉強どころじゃないよ」、先生からは「書類に汗が落ちて書けない」、親からは「学校の暑さは普通じゃない」と悲鳴が。


市民団体からは毎年、教室へのエアコン設置の請願が議会に提出され、自民会

派と公明党は採択に反対し続けましたが、日本共産党は採択のために全力を尽くしました。

こうした市民と日本共産党の粘り強い運動で、ついに2016年の夏休みに全小中学校の教室に設置されました。

請願・陳情	共産党	自民・公明
2014年9月	採択を主張	先送り
2014年6月	採択を主張	先送り
2013年3月	賛成	反対
2012年3月	賛成	反対





県民と日本共産党の運動で、ついに県立高校にも県費で来年夏までにエアコンがつく見込みに!
今後は父母負担解消も求めて行きます!

千葉県議会議員
みわ由美

♥ コミュニティバス運行開始! 市の姿勢変えさせる

「市民センターの趣味のサークルに行きたいけど足が痛くて行けない」「バス停まで遠い」「坂がキツイ」と、新松戸、八ヶ崎、常盤平などの住民のみなさんが請願署名や対市交渉でがんばってきました。

市が「コミュニティバスは要らない」の一点張りだった10年以上前から、日本共産党松戸市議団は毎議会のように一般質問や代表質問でコミュニティバスの運行を求めて奮闘しました。

こうした住民の運動と日本共産党のがんばりが市の姿勢を変え、昨年12月から実証運行が1ルートで始まりました。



朝の北松戸駅発のコミュニティバスは満員



2017年6月住民とともに松戸市と交渉

♥ 入学準備金の入学前支給実現! ママ、パパの声届ける

小中学校の新入学にかかる費用は7万円から10万円。大きな負担です。ところがこの入学準備金の対象世帯への支給がこれまで7月になっていて、入学に間に合いませんでした。



昨年9月の小学校の「入学前支給」を求める請願は自民・公明の反対で不採択となりましたが、市民と日本共産党の粘り強い運動が市を動かす、昨年の中学校に続き、今年の9月議会で小学校も入学前支給が実現しました。

えっ!? 公明党が実現!?!

公明党のチラシに「交通不便地域にコミュニティバス実証運行を実現」と書かれています。しかし公明党は、市民の要望は「停留所から停留所に移動するコミュニティバスではなく、ドア・ツー・ドアのデマンドタクシー」(平成27年3月議会代表質問)だとして、平成26年9月議会では新松戸の住民団体の請願を自民といっしょに否決しています。

アベノミクスで桁はずれの格差と貧困

アベ政権の5年9カ月で、1000億円以上の株主の保有時価総額は3.5兆円から17.6兆円と5倍に。大企業の利益も19兆円から45兆円と2倍以上に。

ところが働く人の賃金はこの間に18万円も減り、その中で国民健康保険料の値上げや、介護の切り捨てが進んでいます。増税するなら消費税でなく、大資産家から。もうアベノミクスはごめんです。

日本共産党が5議席から6議席になれば...

「5時まで議会」を正す

松戸市議会は自民系2会派と公明党で6割以上の議席を占めています。市民不在の大型開発の調査費が合わせて10億円も計上されたこれまでの予算案に日本共産党以外の政党が賛成しました。さらに自民・公明は予算・決算の討論時間を「5時まで」に終わるためと大幅制限を強行し、行政のチェックという議会の大事な役割を自ら投げ出しています。

発言力と実現力が倍増

日本共産党が5議席から6議席になれば、予算委員会などに委員を2人出せるようになり、質問時間も伸び、無駄遣いチェックの力も、市民の願い実現の力も倍増します。日本共産党が躍進すれば、他の野党との協力・共闘が強まり、自民・公明の悪政ストップと市民の願い実現の力をさらに強めることができます。

議会と議員に望むものベスト3

- 1位 無駄遣いなどのチェック
- 2位 住民の声を市政に届ける
- 3位 市政の様子を知らせる

(日本共産党が実施した「暮らしと政治」のアンケートより)